

南中祭「体育の部」がいよいよ間近に迫ってきました。体育の授業では、個人種目やリレーの練習、3年生の団体演技の練習に熱が入ります。小さな学校ですが、学校は活気で溢れています。今日の全体練習では、3年生の勇ましく、元気な行動が1、2年生をリードしてくれています。行事とは、非日常的な取り組みです。しかし、「行事は日常の発表」だと考えます。したがって、普段できていないことは、体育祭の行事の時であっても出来ません。ですから、今からよりよい体育祭を目指してどのように過ごしていくかを示します。

- ・メリハリのある行動を心掛け、時間を大切にする
- ・今まで気が付かなかった仲間の良いところを発見する
- ・あきらめずに最後まで頑張りぬく。（自分にも、仲間への励ましも・・・）

体育祭まで後2週間。自分の中でもっとできるのではないかと思うことがある人は、一日を大切に頑張りてください。そして、一人ではできないことをクラスの仲間と力を合わせて達成する喜びを実感できるようにしましょう。



今から、20年前の2003年の南中祭「体育の部」。私が初めて体育主任として臨んだ時の事です。当時、金八先生のドラマで取り上げられたことをきっかけに、この年から女子が「南中ソーラン」踊り始めました。君たちの先輩の努力を見て、当時のPTAの皆さんが尽力いただき、ハッピーを寄贈してくれました。なんと、そのハッピーが20年経った今でも大切に使われていると知り、大変驚きました。これが「伝統」なんですね。男子は、「エッサッサ」という踊りを披露していました。勇ましくカッコよかったです。今年はどんな体育の部を見せてくれるのか、楽しみにしています。



校内響く南中校歌♪

火曜日と木曜日の終学活の時間に、南中の校舎内では校歌が響き渡ります。これまでは、声を出して歌うことが難しかったので、生徒諸君が校歌を歌う機会がないため、元気に歌うことができませんでした。そこで、皆で練習しようとなりました。校歌が響き渡る学校は素敵です。保護者の皆様も、南中祭「体育の部」開会式での校歌斉唱を楽しみにしててください。



給食は班で楽しく和やかに

3年半もの間、給食喫食時には向かい合わせにならず、黙食が行われていました。生徒諸君の不安を少しずつ解消し、段階的に教育活動を行ってきました。そして、いよいよ今週から班（対面）での喫食をスタートしました。最初は戸惑いを見せていた生徒も数人いたようですが、すぐに慣れ会話をしながら給食をとる風景が見られるようになりました。今後も状況を確認しながら、進めて参りたいと思います。



柏原市生徒会サミット開催（オンライン）

中学校の部として、昨日9月14日（木）にオンライン形式にて開催されました。本校からは生徒会本部の代表の4人が参加し、主に柏原中学校、玉手中学校と意見交換を行いました。本校からは、特色ある取り組みの1つである「あいさつ運動」を中心に発表を行いました。部活動の有志の人も交えて行う取り組みは、他校ではあまり行われていないようでして、大変感心されていました。後半の活動では「主体的な生徒会活動とは？」をテーマに話し合いが行われ、活発な意見交換となりました。これからの社会を生き抜くためには、こういった行事をきっかけに経験を積み重ねていくことが大切です。当日の詳しい様子や感じたことを、参加した生徒会本部の代表4人が、生徒議会や生徒集会で発表してくれていることを、期待しています。

